

3月は識字率向上月間です

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT

水海道ロータリークラブ



2006 - 2007年度 テーマ

心の中にロータリーを

地域と共に

2006-07 年度 国際ロータリー会長
ウィリアム・ビル・ボイド

次回例会予定

3月28日 外部卓話 青年会議所

4月 4日 外部卓話

VOL. 44 No.29 (通算No.2112)

2007年3月14日(水)例会プログラム

点鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

会員卓話

松坂興一会員



筑波学院大学 学長門脇厚司様

2006 - 2007年度 会長 松村仁寿

幹事 青木正弘

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

3月は識字率向上月間です

例会報告 Vol 44 No.28 (No.2111) 3月7日(水)晴れ (司会石塚克己委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶 松村仁寿会長
外部卓話 筑波学院大学 学長門脇厚司様

ピジター

筑波学院大学 学長門脇厚司様 (つくば学園RC)

誕生祝



会員 横山 修会員 青木全弘会員 染谷正昭会員 山崎善市会員
配偶者 横山会員 山崎会員 田中会員 島田会員 石塚(克)会員 小島会員 松崎会員

諸報告

次年度会長(大串 卓会長エレクト)

次年度の水海道ロータリークラブ組織表を皆さんのボックスに入れさせていただきました。一年間よろしく
お願い致します。

表彰

ポール・ハリス・フェロー 瀬戸隆海会員

委嘱状

瀬戸隆海会員
青少年交換委員長
ロータリー家族グループコーディネーター



幹事報告 (田上秀雄副幹事)

週報受理 竜ヶ崎RC、牛久RC、石岡87RC

例会変更通知受理 牛久RC 3月19日(月) 休会

4月2日(月) 午後7時より 牛久シャトー 観桜会のため

石岡87RC 3月29日(木) 3月31日(土) 午後3時より 新国立劇場

3月は識字率向上月間です

会長挨拶 (松村仁寿会長)



皆さん、こんにちは。

門脇様、ようこそいらっしゃいました。会員一同心より歓迎申し上げます。後程卓話宜しく申し上げます。

さて、皆さんテレビで千手観音という踊りを見た事ありますか？神秘的な音楽に合わせ、両腕を前後左右に動かしたり体の向きを変えたりすることで、まるで生きた観音様が目の前に出現したかのような演出を再現して見せてくれるのが「中国障害芸術千手観音」です。披露したのは、16歳～30歳の男女

21人。全員耳が聞こえないため普段の意思疎通は手話だけ。いったん踊りだせばもちろん手話は使えないが、それでも一糸乱れぬ連携の取れた動きを見せてくれます。見ていて本当に感動しました。千手観音様の本来の名は「千手千眼観世音菩薩」というそうです。千の目で私たちの苦しみを見る慈悲心の広大さと、千の手で救うという手段の豊かさを持つ仏様だそうです。言葉を一つ作ってみました。

『むかし私たちには千手観音のように手が何本もあった。しかしそれは自分をかばう手であった。まだその手が二本残っている。今度はその手を人のために使いたい』

もちろん、私たちに手は千本もありません。しかし例えば仕事があるなら一本、少し余ったお金があるなら一本、人に出会ったらニッコリ挨拶して一本、というように数えれば自分以外の人々を幸せにするための「手」をいくつも持っていると思います。そうです、ロータリアンの手と手を繋ぐと240万本の手があるのです。

3月は、識字率向上月間です。世界で読み書きの出来ない人が約9億人いるといわれています。皆様、改めて地域に世界に目を向けてみましょう。

外部卓話 筑波学院大学 学長門脇厚司様



なぜ、いま、若い世代の“社会力育て”なのか

1. 子どもたち(若い世代)の育ちの何が問題なのか。

*「他者の喪失」そして「現実の喪失」……社会力の衰弱……「非社会化」の進行

*脳機能の劣化……発達意欲(学習意欲)の低下……学力の低下

*そして「私も社会の一員である！」という自覚(市民意識・公共心)の欠如

2. 社会力とはどのような資質能力か。

*人が人とつながり社会をつくる力

*そしてよりよい社会を作ろうとする意欲、構想力、実行力

3. 教育再生会議の提案はわが国の教育を再生させるか。

*逆効果を引き起こすだけ……進行中の非社会化を加速する……教育再生会議提案と正反対のことをやる方が正しい道。

4. 大人たちは、いま若い世代の社会力を育てるために、地域で何をしたらいいか(しなければならないか)

*地域をコミュニティ(親密圏)にするために、出来る事からすぐにやり始めること……誰かがやるだろうと待つのではなく「まず、自分からやり始めよう」と決意し、他の人にも勧め誘う事。

社会力ある人間の具体的なイメージ

人間が大好きな人間

どんな人ともうまくコミュニケーションできる人間

他の人といい関係がつけれる人間

他の人と協力しながら物事を成し遂げることができる人間

3月は識字率向上月間です

他の人の身になり、立場に立って物事を考えられる人間
他の人を思いやれる人間
物事に対して常に前向きに取り組もうとする人間
何事にも創意工夫を怠らぬ創造的な人間
自分も社会の一員であるという自覚がある人間
社会の運営に積極的に関わろうとする構えができている人間
自分の能力を活かし、家庭や地域や職場で自分の役割を果たせる人間
社会の改善や改革にも積極的に関わろうとする意欲のある人間
広い視野から社会の動きや社会の動向を判断できる人間
自分の行動が他の人や社会の動向にどう影響しているかを考えながら行動できる人間
人類社会の将来に常に思いを馳せながら行動できる人間

<参考> 社会人基礎力の能力要素 (経済産業省2006年4月発表)

| | |
|-----------------------|-----------------------|
| 物事に進んで取り組む力 | 自分の意思をわかりやすく伝える力 |
| 他人に働きかけ巻き込む力 | 相手の意見を丁寧に聴く力 |
| 目標を設定し確実に行動する力 | 意見の違いや立場の違いを理解する力 |
| 現状を分析し目的や課題を明らかにする力 | 自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力 |
| 課題の解決に向けたプロセスを明らかにする力 | 社会のルールや人との約束を守る力 |
| 新しい価値を生み出す力 | ストレスの発生源に対応する力 |

出席報告 (大塚令昌副委員長)

| 会員総数 | 出席者数 | 欠席者数 | 賜暇 | メーク | 出席率 |
|------|------|------|----|-----|---------|
| 47名 | 41名 | 6名 | 0名 | 27名 | 100.00% |

ニコニコボックス (登坂 寛SAA) 入金計 ¥94,000 累計 ¥1,699,000

誕生祝御礼 会員 横山・青木(全)・山崎・染谷(昭) 各会員
配偶者 横山・山崎・田中・島田・石塚(克)・小島・松崎 各会員
門脇先生、卓話宜しくお願い致します。 松村・秋田 各会員
鶯が鳴き始めました。 大串会員
今日は幹事がお休みのため来年のリハーサルの気持ちで務めさせていただきます。また、門脇先生卓話有難う御座います。 田上会員
IM欠席しました。 島田会員
良い季節となってきました。健康に十分気をつけてください。 宜しく。 小島会員
地区研修セミナー無事終了しました。出席された会員の皆様ご苦勞様でした。 鈴木(豊)会員
門脇先生、お世話になっています。本日卓話宜しく申し上げます。 石塚(克)会員
米山功勞賞頂きました。 染谷(秀)会員
IM参加させて頂きました。 穂戸田会員
例会休みが続きました。 瀬戸会員
例会欠席しました。 山野井・五木田・染谷(昭) 各会員
IM欠席しました。またIM記念品を頂き有難う御座いました。古谷・福田・白井・角田・松崎・登坂 各会員
誕生日プレゼント用意するのを忘れしました。 親睦委員会一同

会報委員会 委員長 角田雅宣 副委員長 北村 仁 委員 山崎善市

3月は識字率向上月間です

2007 - 2008年度 水海道ロータリークラブ組織表

理事・役員一覧

| | | | | | |
|---------|---------|--------------|-----------|-----|-------|
| 会 長 | 大 串 卓 | SAA(役員) | 海老原良夫 | 理 事 | 五木田利明 |
| 会長エレクト | 秋 田 政 夫 | 直前会長 (役員) | 松 村 仁 寿 | | |
| 副会長(役員) | 小 島 富 雄 | | | | |
| 幹事(役員) | 田 上 秀 雄 | 理 事 | 角 田 雅 宣 | | |
| 会計(役員) | 染 谷 正 美 | 理 事 | 山 野 井 周 一 | | |

| | | | | | |
|-------|---------|-------|-------|--|--|
| 副 幹 事 | 染 谷 正 美 | 副 会 計 | 関 根 淳 | | |
|-------|---------|-------|-------|--|--|

各委員会一覧

| 委 員 会 | 委 員 長 | 副 委 員 長 | 委 員 | 委 員 | |
|------------|-----------|-----------|-----------------------------------|---------------------------------|-------|
| 会員組織委員会 | 秋 田 政 夫 | 松 村 仁 寿 | 飯 塚 三 夫 青 木 全 弘 | 小 島 富 雄 中 川 莞 爾 | |
| | 会 員 増 強 | 松 村 仁 寿 | 草 間 春 正 | 鈴 木 豊 | |
| | 広 報 | 飯 塚 三 夫 | 山 崎 善 市 | 北 村 仁 | |
| | 職 業 分 類 | 小 島 富 雄 | 皆 葉 瑞 男 | 田 中 正 躬 | |
| | 会 員 選 考 | 青 木 全 弘 | 島 田 勝 | 青 木 正 弘 | |
| R 情 報 | 中 川 莞 爾 | 鈴 木 邦 彦 | 長 塚 暁 | | |
| クラブ管理運営委員会 | 小 島 富 雄 | 大 塚 令 昌 | 穂 戸 田 好 範 北 村 陽 太 郎 石 塚 利 明 | 海 老 原 良 夫 松 坂 興 一 倉 持 功 典 | |
| | 出 席 | 大 塚 令 昌 | 橋 本 忠 昭 | 青 木 清 人 | |
| | 親睦活動 | 穂 戸 田 好 範 | 倉 持 功 典 | 染 谷 秀 雄 | |
| | S A A | 海 老 原 良 夫 | 横 山 修 | 武 藤 康 之 | 北 村 仁 |
| | プ ロ グ ラ ム | 北 村 陽 太 郎 | 北 村 英 明 | 熊 谷 昇 | |
| | 会 報 | 松 坂 興 一 | 登 坂 寛 | 石 塚 利 明 | |
| | 雑 誌 | 石 塚 利 明 | 隅 屋 祐 三 | 染 谷 正 昭 | |
| | I T | 倉 持 功 典 | 石 塚 克 己 | | |
| 職業奉仕 | 角 田 雅 宣 | 松 崎 隆 詞 | 青 木 正 弘 | | |
| | 山 野 井 周 一 | 島 田 勝 | 白 井 豊 | | |
| | 五 木 田 利 明 | 横 山 修 | 登 坂 寛 | 橋 本 忠 昭 | |
| | | | 穂 戸 田 好 範 | 石 塚 利 明 | |
| 新世代奉仕 | 青 木 清 人 | 斎 藤 広 巳 | 石 塚 克 己 | | |
| ロータリー財団 | 瀬 戸 隆 海 | 古 谷 榮 一 | | | |
| 米山奨学会 | 白 井 豊 | 福 田 克 比 古 | | | |

3月は識字率向上月間です

■ 識字—自立への贈り物

読書好きな家族としての私たちにとっては、識字率の向上は常に最も優先されるべき問題でした。家には本が満ちあふれ、ローナも私も旅行するときは必ず 2~3 冊の本をもって出かけます。読書は私たち二人にとっての大きな喜びで、うれしいことに子どもや孫たちともその喜びを分かちあっています。でも残念なことに、世界中の多くの人々にとって、読書というこのささやかな楽しみは、絶望的なくらい手の届かない遠い存在なのです。

貧困から脱却するための手段

文字が読めなければ、本や新聞ばかりでなく、地図、商品のラベル、道路標識、看板などに至るまで、私たちが日々の生活で目にする文字は、社会生活を営む上で訳の分からない、行く手をふさぐ存在になってしまいます。私にとって、誰かに読み書きを教えるということは、考え得る最も報われる奉仕活動の一つです。そのために必要なコストは忍耐力と時間だけで、その報酬は計り知れません。

何にも増して、文字を読めるということは、貧困から脱却するための手段です。それは自立への贈り物で、世代から世代へと引き継ぐことができるものです。読み書きのできる両親は読み書きのできる子どもを育てるので、一度家族が読み書きを覚えると、そこには識字が定着します。読み書きできる両親は、より健康な子どもを育てる可能性が高く、そういった子どもの可能性は、彼ら自身の家庭や村の外にまで広がります。識字率向上は、文字通り新しい世界を切り開くのです。

職業に欠かせない読み書きの能力

私たちは、識字が発展途上国だけの問題ではないことを認識する必要があります。一般教育のいき届いた最も裕福な国でさえ、実は機能的に文字を理解できていない人がたくさんいます。特に、文字を読めないことが汚名になるようなところで、それと闘うことは困難です。とはいっても、識字率の高い社会では、読み書きはほとんどすべての職業に不可欠です。刑務所や病院へ行けば、機能的に文字を理解できない人々が不釣り合いなほど多く存在していることに気づくでしょう。単純作業に従事する人の多くは文字を理解できず、そのため仕事仲間に説明してもらう必要があるのです。

しかし、ローナと私は数日で読み方を学んだウガンダの女性や、その存在すら知らなかった新しい世界を見いだす本に出合っている南アフリカの子どもたちを見てきました。私たちはインドやナイジェリア、それにトルコのロータリアンたちが、「CLEメソッド (concentrated language encounter method)」を利用して、何千人もの女性や子どもたち、それに若干の男性たちに読み方を教えているのを見ました。問題は知性ではなく機会なのです。

わずかな投資で大きな結果

識字率向上は、確かに長年にわたってロータリーの奉仕活動事項の上位を占めています。そして、それは各ロータリークラブのプロジェクトの中でも重要な役割とすべきです。その目標が書物の寄贈であれ、読み書き教室の運営であれ、小学生のための辞書の供給することであれ、あるいは、単に子どもたちの学業の手助けをするだけであったとしても、識字率向上プロジェクトはごくわずかの金銭的な投資で、大きな結果をもたらします。誰かが、子どもたちが本を読んでいるのを聞くために、小さすぎる窮屈ないすに座って時間を費やしたために硬直した筋肉は、識字の生涯にわたる恩恵に対して支払われる小さな対価であると心から信じています。

WILLIAM B. BOYD

2006-07 年度国際ロータリー会長